

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成29年9月28日 (2017.9.28)

【公開番号】特開2016-202707(P2016-202707A)
 【公開日】平成28年12月8日 (2016.12.8)
 【年通号数】公開・登録公報2016-067
 【出願番号】特願2015-89678(P2015-89678)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

G 0 2 B 23/24 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 B 1/00 3 0 0 Q

G 0 2 B 23/24 A

【手続補正書】
 【提出日】平成29年8月15日 (2017.8.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 0 5】
 【特許文献 1】国際公開第 2 0 1 4 / 0 3 0 3 8 5 号パンフレット
 【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 0 7】

従来では、特許文献 1 のように、観察窓の表面全体に対して流体噴出用ノズルからの流体が拡がるように考慮されているが、観察窓に隣接する領域に洗浄液の残留が生じてしまうことがあり、観察画像の画質への影響がなくなる状態まで洗浄液を除去することに長い時間を要することがあった。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 1 2 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 1 2 9】

また、流体初期通過部 8 4 のガイド面は、長手軸に垂直な基準面 7 0 と噴出口 2 9 から離間した位置からのガイド部 7 4 のガイド面 7 4 S であって、流体噴出用ノズル 2 8 から離間するにつれて長手軸方向の先端側に傾斜するガイド面 7 4 S により形成される。

【手続補正 4】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 1 3 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 1 3 1】

なお、流体誘導部 8 6 から観察窓 2 2 側のガイド部 7 4 のガイド面 7 4 S までの範囲が

流体誘導部 8 6 から観察窓 2 2 に向かうにつれて長手軸方向の先端側に傾斜した第 1 の流体ルート 8 8 のガイド面（第 1 傾斜面）となる。